

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

盛岡では11月15日夜、平年より7日遅く、昨年と同日に初雪を観測しました。仮設住宅がある沿岸部は、雪、寒さとも内陸部ほど厳しくはありませんが、降雪のたよりを耳にする時期となりました。

復興に向けて歩んでいる岩手の今を御紹介します。

【被災地で県政懇談会を開催しました】

12月1日、県は、釜石市平田地区において、仮設住宅に入居している被災者の皆さんと懇談する『県政懇談会「がんばろう！岩手」意見交換会』を開催。達増知事は、懇談会終了後、同地区の仮設住宅に宿泊しました。

仮設住宅での知事の様子



仮設団地で説明を受ける知事



今回の宿泊は、知事として多くの被災者が暮らしている仮設住宅での生活がどのようなものか、実際に宿泊することにより知っておきたいとの考えから行ったものです。

知事は「これまで進めてきた仮設住宅の寒さ対策を実地で確認できた一方、多くの被災者の皆さんが仮設住宅での生活にご苦労をされていることを思い胸が痛みます。行政が被災者に寄り添って支援していくとが必要であると改めて感じました。」と述べています。

被災者一人ひとりが、生活の再建やなりわいの再生に向けて力強く前進し、復興の主役として活動いただけるよう、引き続き被災者に寄り添った支援を行っていきます。

【ありがとう！頑張ってます！】 神戸から陸前高田へ「3.11 希望の灯り」が点灯



海を望む「気仙大工左官伝承館」に建立

12月10日、陸前高田市の高台に、阪神大震災の被災地・神戸市のガス灯「希望の灯（あか）り」の火がともされました。

今回の分灯は、神戸の灯りを管理運営するNPO「阪神淡路大震災1.17 希望の灯り」（堀内正美代表）が陸前高田に救援物資を届けたのがきっかけで決定。

犠牲者の追悼と復興への願いが込められた炎の前で、両市の市民は、互いに支え合いながら、この難局に立ち向かっていくことを誓い合いました。

【岩手県立博物館・文化財レスキュー事業】

東日本大震災津波により、県内では博物館や図書館など多くの文化施設が被災。津波は、多くの文化財も飲み込みました。

そうした状況の中で始められたのが、岩手県立博物館で行われている文化財復元作業です。古文書や生物系の標本など、一つひとつ丁寧に泥や砂を落とし、貴重な文化財を復元しています。



復元作業スタッフ・後藤昌子さん「後世に残すひとつに、自分の手が加わることができるっていうのが、非常に名誉なことだと思いますので、誇りをもって仕事をさせていただいております。」

県立博物館主任専門学芸員・佐々木勝宏さん「今回、被災した文化財は、唯一無二のかけがえのないものばかりです。平成の熱い思いを込めて、修復したものを後世に伝えていければと思っております。」

>>>詳しくは(パツナガ-) ... <http://goo.gl/ZHKcX>

いわて希望のちから
県政番組「いわて希望のちから」
第28回～文化財レスキュー事業～
(12月12、13、15、18日放送)

【義援金の追加配分を実施します】

県では、被災者の皆さんにおける、暖房器具の購入など冬季の対応、年末年始の多様な生活需要に対応することを趣旨として、**義援金追加配分**を行いました。市町村から被災者へ配分されます。

追加配分額は次のとおりです。

死亡又は行方不明	1人あたり	73,000円
住家の全壊等	1戸あたり	73,000円
住家の半壊等	1戸あたり	73,000円

★義援金受付状況 (11月30日現在)
 約165億4,219万円 (72,499件)
 ~市町村を通して被災者へ配分されます~
皆さんのご支援、ありがとうございます。

★寄附金受付状況 (11月30日現在)
 約60億4,928万円 (4,402件)

【2016年岩手国体の開催を表明】

今回の震災を受けて開催か否かが議論となっていた**2016年の岩手国体**について、達増知事は「**復旧・復興のシンボルとして位置づけ、開催することが民意にかなうと判断した**」と表明しました。

復興事業が今後、本格化する中で全ての業務運営を県直営方式で行うことは困難であることから、県民、企業、団体等との協働を基本とし新しい岩手型国体の開催を目指します。

岩手県の被害状況 (12月14日現在)

- 人的被害 死者：4,665名
行方不明者：1,380名
- 建物被害(住家のみ、全半壊)：24,736棟

★いわての学び希望基金受付状況 (11月30日現在)
 約26億6,761万円 (3,574件)

【岩手県では復興に向けて 任期付職員を募集します】

岩手県では、東日本大震災津波からの復興に向けて、公共土木施設の災害復旧などをはじめとした各種事業を実施していきます。

これにより、一時的な業務の増加に伴って職員の不足が生じることから、当面の復興事業や県政課題に着実に対応していくため、任期付職員を募集することとしました。皆さまからのご応募をお待ちしています。

>>>詳細はこちらから
... <http://goo.gl/AgzAG>

■受付期間

平成23年12月14日(水)~
平成24年1月13日(金)
郵送または持参

■一次試験

- ・日時:平成24年1月29日(日)
- ・会場:岩手県立大学共通講義棟
- ・合格発表:2月9日(木)

■二次試験

- ・日時:平成24年2月18日(土)
~2月27日(月)の間で
第1次試験合格通知書で指定する1日
- ・会場:岩手県盛岡地区合同庁舎
- ・合格発表:3月2日(金)

1. 試験職種、採用予定人員、勤務地

- 【一般事務】20人程度
→主に沿岸地区の出先機関又は本庁
- 【総合土木】40人程度
→主に沿岸地区の出先機関又は本庁

2. 受験資格

- 【一般事務】平成6年4月1日までに生まれた者
- 【総合土木】次のいずれかの要件を満たす者
 - (1)1級又は2級土木施工管理技士の資格を有するもの
 - (2)2級土木施工管理技術検定試験の受験相当の実務経験を有するもの

3. 任用期間

平成24年4月1日から
平成27年3月31日まで(3年間)

【三陸復興に向けて】

岩手県では、三陸地域の本格的な復興に向けた取組の機運を盛り上げるため、シンボルロゴ「三陸復興」を作成しました。(右上)これは女流書家金澤翔子氏の作品で、各種イベントや広報媒体などで活用していきます。

今後も、皆様から継続的なご支援をいただくため、各種イベントやフェアなどを開催していく予定です。

また、「三陸復興」facebook ページを開設し、支援者の方に対して、三陸復興に関する情報と交流の場を提供していきます。



イオンレイクタウン「いわて三陸復興フェア」の様子



>>>三陸復興 facebook ページ

<http://www.facebook.com/iwate.sanrikufukko>

いわて復興だより 第11号 平成23年12月15日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6918 ✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFB0z>